



にゅーすれたーふじやま・長泉 富士の山ビエンナーレ



2016. 11

パナソニックエイジフリーショッフ

10月28日(金)～11月27日(日)「富士の山ビエンナーレ2016」が開催されました。今回で2回目になります。ビエンナーレというのは2年に1回開催される美術展覧会という意味だそうです。1回目は私は知りませんでした。地元にながら恥ずかしいですね。今回はお友達から声をかけていただいたので、始まる寸前に知ることができ、本当に良かったと思っています。

ヴェネツィア・ビエンナーレの様子→

“この地が解き放つ「時」の響き合いに、耳をすまして”



「市民たちによって2014年にはじまった「富士の山ビエンナーレ」

静岡市、富士市、富士宮市で開かれる第2回目のテーマは、フジヤマタイムマシーン。富士山や駿河湾、富士川によって何万年もかけて形づくられ、江戸時代には宿場町として賑わい、開国後の近代化のなか製紙業によって栄え、そして今、富士山が世界遺産となる一方でかつての町の活気が消えつつある、そうした時代にさしかかっています。総勢19名の芸術家による芸術作品と富士宮市を含む全域で展開する関連イベントをとおして、この地が過ごしてきた時代や来るべき時代の足音に耳をすまし、私たちがどこに立ち、どこに向かおうとしているのをたしかめます」

ディレクター：小澤慶介

富士川町のフジノヤマカフェで川崎誠二さんの作品をみました。木彫りの厚切りトースト。カフェに置いてあると本物ソックリ、食べたくなります。カフェの前には昭和時代の木造倉庫があり、Fujiをテーマにした作品プロジェクションマッピング「不死(富士)」(高さ3.5m・幅12m)。スクリーンに映し出される富士山と竹林の幻想的な描写はフランス人(ジョアニー・ルメシエ)ならではの表現でしょうか。ふじやま店の2階にはフランス人に描いてもらった富士山が緑色の絵があります。フランス人には富士山は緑に見えるようです。信号も私たちは青と言いますが、外国人は緑なんですね。。。。よく見ると緑です。



にゅーすれたーが皆様のお手元に届く頃には展示もシャクジ能も終わります。いよいよ本格的な冬の到来！2016年は私にとって芸術を満喫した年でした。

こんなこともありました。とつても楽しみにして、ある美術館へ行きましたが、不思議なことに、でかける前から体調を崩していました。案の定、どうしてもその場所は好きになれませんでした。ウキウキするものとならないものがわかる年齢になりました。これからはお芝居にしてもアートにしても無理に好まない作品は観ないようにしようと思っています。2018年の第3回富士の山ビエンナーレはもっともっと市民が知って、応援していただけるものにしてほしいと思います。世界中から富士山のあるこの地域に来たくなるように！

11月3日(木) NPO 法人楽しいことやら座のヤーコン収穫祭を人穴のゆとり苑で開催しました。晴天に恵まれ、いつものメンバーはじめ、理事長のお友達も加わり、13名が集まりました。力を必要とするヤーコン堀は男性が多かったので助かり、楽しみながらできました。皆さんお疲れ様でした。ヤーコンの天ぷらとノンアルコールビールで乾杯！秋を満喫できました。 渡邊啓視

